

2020年9月24日発行

Contents

- 1) 学会からのお知らせ
- 2) 健康心理学コラム vol. 93「親と子どもの森林セラピーの取り組み」
舩松 克代 (横浜メンタルサービスネットワーク)

1) 学会からのお知らせ (<http://jahp.wdc-jp.com/>)

■第122回/123回健康心理学研修会の開催のお知らせ(研修委員会より)

健康心理学研修会は「コロナ禍での健康心理士の役割と実践」をテーマとし、第33回バーチャル大会にて122回(早稲田大学 竹中晃二先生)、123回(関西福祉科学大学 山田富美雄先生)の研修会を予定しております。

研修会は、事前申し込み/事前振り込み制です。詳細は、学会ホームページ<<研修会>>より「今後の開催予定」<<http://jahp.wdc-jp.com/kensyu/kensyu2.html>>をご確認ください。

■資格認定委員会より

2020年度健康心理士資格認定試験の受験申請が開始されます。また、専門健康心理士・指導健康心理士資格者の資格更新・復活に関する審査も開始されます。詳しくは学会ホームページをご覧ください。

<http://jahp.wdc-jp.com/nintei.html>

■「新型コロナウイルス感染症に関連する健康心理学的研究」に対する研究助成について(新型コロナウイルス感染症対策検討ワーキンググループより)

日本健康心理学会では、このたび「新型コロナウイルス感染症に関連する健康心理学的研究」に対して研究助成を行うことになりました。詳細につきましては、学会HPをご参照ください。学会の正会員であればどなたでも応募できます。多くの会員からの応募をお待ちしております。

http://jahp.wdc-jp.com/support/index.html#a200918_covid-19

■研究推進委員会より

①国際学術雑誌投稿支援制度のご案内

研究推進委員会では、特定の健康心理学関連の国際学術雑誌への投稿支援を行っております。2020年度は、2020年9月1日から2021年3月31日までに先着2名まで募集いたします。

支援金：修正投稿用の英文校正料5万円、掲載時の奨励金5万円

申請方法：随時受け付けておりますので、学会ホームページ<<http://jahp.wdc-jp.com/support/index.html>>をご参照ください。

②研究部会制度のご案内

研究推進委員会では、健康心理学領域における研究の発展のため、研究部会制度を設けております。学会が認める研究部会として、共同研究の実施などが行なえるほか、研究部会競争的資金獲得支援制度の申請が可能となります。

申請方法：随時受け付けておりますので、学会ホームページ<<http://jahp.wdc-jp.com/support/index.html>>をご参照ください。

③研究部会競争的資金獲得支援制度

研究推進委員会では、研究部に属し、競争的研究資金を新規に申請する予定である代表研究者を対象に、準備資金(20万円以下)を支給する支援を行っております。

募集期間は、毎年1月1日から7月31日とし、採択は先着3件までとします(2021年度は、2021年1月1日から申請を受け付けます)。

申請方法：詳しくは学会ホームページ<<http://jahp.wdc-jp.com/support/index.html>>をご参照ください。

④テクニカルワークショップ(テーマ:With コロナ時代の科学者-実践者モデル)を大会で開催します!

第33回大会の11月16日(月)10:00~11月22日(日)17:00において開催予定です。

今年は初のバーチャル大会での開催となり、詳しくは10月下旬に大会HPで公開予定の大会プログラムでお知らせします。

例年大盛況の本プログラムに、今年もふるってご参加ください!

2) 健康心理学コラム Vol. 93

「親と子どもの森林セラピーの取り組み」

舩松 克代 (横浜メンタルサービスネットワーク)

私は、長年大学病院の精神科で心理職として働いてきました。児童思春期外来を担当していたので、お子さんとその保護者と向き合う機会が沢山ありました。そこで思っていたのは病院という場は子どもの成長を促すには十分なものを提供できないこと、もっと早くに何かできないのだろうかということ、NPO法人の運営にかかわりながら教員をしています。

近年は、私が親となり子と向き合う体験の中から、子どもの親もリラックスでき、子どもものびのびと発散できるプログラムをできないかなと考え、親と子の森林セラピーのプログラム開発に一年前から取り組み、パイロットスタディーを始めました。昨年都内の公園で3時間のミニプログラムを実施しました。親と子は別々のコースで森林セラピーを体験し、最後、合同になりながらマザーリングを行いました。最初しづしづ分かれていった子どもたちは目を輝かせながら帰ってきました。子としばし離れてほっとした親は、とてもいとおしいものと再会したようにお互い素敵な抱きしめあいのシーンが見られました。プログラム実施後には、対象者の血圧や脈拍も低下がみられ、身体的リラクゼーションも得られました。ある子どもは、大きな木に抱き着きながら、ママの香りと似ていると言っていました。一緒にいるところから離れること、そして再開すると流れを森という安心できる基地で行うことで、親も子もそれぞれの大切さや健康な感覚を取り戻していただけるのだと考えています。現在本格的なプログラム作りに向けてプロジェクトを立ち上げたところです。もしご関心あつばURLをご覧ください。ただければありがたく存じます。

<https://pr.yume.niye.go.jp/uploads/6cb4241a564aac685ec83da1c917c1eb.pdf>

日本健康心理学会広報委員会

<http://jahp-public.blogspot.jp/>

メールマガジンの配信停止、アドレス変更は下記アドレスまで

日本健康心理学会事務局 <jahp-post@bunken.co.jp>

メールマガジンへのご意見・ご感想は下記アドレスまで

広報委員会 <jahp-ML@bunken.co.jp>

過去のメールマガジンは、こちらからご覧いただけます

<http://jahp.wdc-jp.com/health/health1.html>